



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越 🔍



2022.1.2 金谷山より望む 撮影 松本栄規さん

「たより」No.276 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越	4
・上越の行事・展示会	
・上越の話題	
鯉橋師匠高座予定	6
上越産品販売のお知らせ	6
会員ひろば	6
日本のスキーの始まりと豪雪地高田の思い出	佐藤 稔
上越市からのお知らせ	8
Jネットからののお知らせとお願い	8

※ホームページ

「ふるさと上越ネットワーク」では、「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在 600 名です。(令和 3 年度目標 610 名)

(2) 「ふるさと市場」(12 月合計) の販売取次状況 507 点 603,673 円 (前年同月 547 件 570,617 円)

新年、あけましておめでとうございます。
本年も皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

上越の今年の雪は、昨年ほどの豪雪ではないものの平年以上とのこと、被災されたり、難儀されておられる皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、2022年がスタートしました。本年7月30日には、当会「ふるさと上越ネットワーク（Jネット）」は、創立25周年を迎えます。

この間、当会は幾多の困難も乗り越え、このコロナ禍でも、会員数は減らず、ふるさと市場も販売取次額は過去最高を更新、HPの閲覧数も最多で3000件/月を超えるなど大幅に増え、意気軒高です。

これもひとえに、会員の皆様のご尽力、および上越市をはじめとする皆様のご支援の賜物と深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

これからも上越の応援団として、上越ゆかりの皆様の親睦の会として、活動を大いに拡げてまいります。なにとぞ、よろしくご指導ご支援をお願い申し上げます。

なお、25周年記念事業の1つとして、「たより」特別号を企画しております。皆様からもご寄稿をいただく予定です。後日、あらためてお願い申し上げますが、ふるってご応募いただきますよう、お願い申し上げます。

コロナ禍にもめげず、本年も力を合わせて活動してまいりましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ふるさと上越ネットワーク会長 伊藤 利彦

1. 1月13日(木)にサロン開催

今回は、令和4年2月10日(木)、その次は3月10日(木)。ぜひご参加下さい。

変異株オミクロン株感染が急拡大する中、新年第1回の1月サロンが、オンラインで13日(木)17時15分より始まりました。

今回も初出席お二人を迎え、グラスを片手に、近況やふるさと出身地のこと、いちじく酒、上越の雪、趣味など様々なお話に加えて、魚住かまぼこ店さんからのご挨拶もあり、終了予定時刻の19時を超えて盛り上がりました。

【次回以降のサロン】

毎月第2木曜日にサロンを開催します。次回以降の予定は次の通りです。

2月10日(木)、3月10日(木)。いずれも17:15 - 19:00。オンラインにて開催。

お申込み：事務局宮里 k.miyazato@araipn.co.jp まで。URLをお届けします。

アルコール片手に、途中参加、中座も自由、勝手なことを勝手に言える集まりです。ぜひご参加下さい。実際のサロンと異なり、オンラインですので全国どこからも参加できます。

ご参加は超簡単、クリック2回で参加できます。未体験の方も是非、ご参加ください。事前に操作方法もお手伝いします。



2. 春の交流会は秋以降へ延期

コロナ禍のため、恒例の「春の交流会」は、2020年から2年連続で中止しておりますが、本年も、オミクロン株が猛威を振っている現状に鑑み、会としては、お花見の4月での開催は無理と判断しました。まことに残念であります。

お楽しみにされておられた会員の皆様には何卒ご了承くださいませよう、お詫び旁、お願い申し上げます。なお、状況次第ではありますが、上越での交流会は、秋以降での開催を考えております。開催は、「たより」、HP（ホームページ）でのお知らせをご覧ください、事務局にお問合せください。

3. いま旬のホームページ（HP）をご覧ください。

おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせて大きく増えております。内容も、上越市の風景の写真他、次のように掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

- ・お知らせ：上越関連TV放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店などの話題。
- ・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
- ・「たより」：全頁カラーで過去2年分を掲載。・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
- ・他HPへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員7社のHP。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン（JCV）の動画を閲覧できます。

上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・PSWIにてログインしてください



※上越タイムス全頁を閲覧する場合は、同紙画面から、PDFをクリックしてください。

1. 上越の行事・展示会

(1) レルヒ祭 3年ぶりに完全復活の予定

2022年2月5日(土) & 6日(日)

レルヒ祭は、日本スキー発祥の地とする祭で、冬の恒例イベント。本年は、3年ぶりに従来通りの開催を予定しています。

祭を盛り上げるたいまつ滑走、ミュージックスターメインに加えて、雪を楽しむ新企画も用意され、メイン会場の金谷山スキー場では屋台村が開かれます。

また、祭りと連動して本町商店街でのグルメイベントなどが計画されています。



照会先 事務局上越コンベンション協会 TEL.025-543-2777 <https://joetsukankonavi.jp/lerch-fest/>

(2) コレクション展「白の世界」 小林古径記念美術館

日本有数の豪雪地である上越市では、初冬から早春まで一面雪で覆われ、人々は雪と深く関わりながら暮らしています。何もかも埋め尽くすように降り積もる雪はその時々で様々な表情を私たちに見せます。そして、どこまでも続いていくように感じられる白の世界は、芸術家たちにもインスピレーションを与えました。

また、私たち日本人の美意識の中には「余白」「空白」の美を重んじる心が息づいています。また、まっさらな空間の中に私たちは文字や絵を加えることで、相手に思いや情報を伝えてきました。白＝「何もない」のではなく、その白い空間に私たちは豊かな詩情や感情を込め、多くの作品を生み出してきたのです。本展覧会では、「白」にちなんだ作品について、所蔵品を中心に紹介します。

(小林古径記念美術館HPより)

令和4年(2022年)1月4日(火曜日)～3月13日(日曜日) 月曜日休館

午前10時～午後4時 2月11日(金曜日・祝日)は午後7時まで延長開館

(料金) 一般 510円/小・中学生、高校生 260円

なお、2022年は、トミオカホワイトで知られる洋画家富岡惣一郎(高田・南本町出身)の生誕100年の年にあたります。氏の作り出した、黄変や亀裂、剥落のない白い絵の具で、作品は美しく輝いています。

(3) 第97回高田城址公園観桜会の開催

2022年の開催は、3月26日(土)～4月10日(日)の16日間。

初めて3月の開会となります。

上越観光コンベンション協会によると、近年開花が早まる傾向がみられ、3月下旬からの開花状況に合わせたとのこと。3月開会は1926年に始まった観桜会史上で初めてです。開催内容については今後、詳細を決め発表の予定。

高田城址公園の桜の多くはソメイヨシノ。公園の広大な内堀と外堀とその周辺に約4000本の桜が咲き、約3000個のぼんぼりに照らされ映える美しさは、日本三大夜桜の一つとされています。そのため、高田城址公園は「さくら名所100選の地」「日本の歴史公園100選」に選定されました。

2. 上越の話題

(1) 市長、自己紹介動画で上越への思いを語る

中川市長は、このほど、上越市HP（ホームページ）通じて、自己紹介動画を公開、ご自身のこと、ならびに「地域住民が主役となるまちづくり」の思いを語っています。映像時間は2分20秒ほど。

次の手順で視聴できます。

上越市HP⇒「キーワードで探す」で「市長プロフィール」を検索⇒市長自己紹介動画（市公式YouTube）



(2) 岩の原ワイン「深雪花」、日本ワインで最高賞受賞

岩の原葡萄園を代表するワインの1つ、「深雪花」は、昨年11月、女性審査員によるアジア最大級のワインコンクール「サクラジャパンウイメンズワインアワード」において、グランプリ・ジャパニーズワイン賞（日本最高賞）ならびにダブルゴールド賞を受賞した。



出品数約4000銘柄の中から、エレガントなうえに、寄鍋や焼き鳥など家庭料理にも合うという、女性にとっても嬉しいワインとして、受賞となった。

「深雪花」は、これまでも国内外のワインコンクールで数々の賞に輝き、2019年のG20大阪サミットのワーキングランチにも供されるなど注目されてきたが、今回は、我が国を代表するワインというお墨付きも加わったわけである。

陶芸家の初代陶齋の手による優雅な雪椿のラベルを愛でながら、グラスを傾ければ、豊潤な郷土の香りが広がる。我らが郷土の誇りとするワインである。

（ご参考）深雪花（720ml。赤、白、ロゼの3種類）販売価格（税込）：2,219円/本（2022年1月1日現在）。
当会「ふるさと市場」（会員は送料無料）でも注文できます。

上越 雪三景

大雪の中にも、美と風情をみる上越の人たち。1月央、小坂恵美会員から、雪の写真が届きました。



小林古径記念美術館の雪庇（せっぴ）



高田城址公園



上越ICへの道

ブログ ～七転び 八起の末の ホンダラダ～ <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。

◇ 2/1(火)～5(土) 仙台「花座」公演
 時間：1(火)・2(水)・5(土)、午前 11 時～午後 1 時、午後 2 時～4 時。
 3(木)・4(金)、午後 2 時～午後 4 時、午後 6 時半～8 時半
 木戸銭：2000 円(65 才以上 1500 円)

出演：鯉橋、仁馬ほか 会場：花座(仙台市青葉区一番町 4-4-23)
 お問い合わせ：022-796-0873(花座)

◇ 2/11(金・祝)～20(日) 新宿末廣亭・昼の部

皆様、どうぞお気をつけてお過ごしくださいますよう。瀧川鯉橋拝

◇ 2/16(水) 七人の侍～流浪の落語勉強会～

時間：午後 2 時～4 時半ごろ 木戸銭：1500 円

出演：枝太郎、楽生、鳳志、鯉橋ほか

会場：お江戸日本橋亭(地下鉄・三越前 A10 出口から徒歩 2 分)

◇ 2/20(日) 本庄若手落語会(特別編)

時間：午後 2 時開演 木戸銭：1500 円(全席自由、70 席、
 予約優先) 出演：春風亭昇輔、鯉橋

会場：旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 2 F 多目的ホール

上越産品販売のお知らせ

- J ネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A 3 版 1 枚)を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

- 新潟・上越妙高「うまさ直送! 雪国マシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は下記にて予定
 しています。

日時 1 月 29 日(土)、同 30 日(日)、
 2 月 26 日(土)、同 27 日(日)

会場 有楽町交通会館 1 F。開業時間 11:30-17:30

- 常設店舗「雪国商店」

場所 有楽町交通会館 1 F。

営業時間 11:00 - 19:00

年中無休(年末年始は休業)

ネットで「雪国商店」を検索してご覧ください。

♪お問い合わせ：JCV 東京情報センター 03(5218)7730

会員ひろば

日本のスキーの始まりと豪雪地高田の思い出

佐藤 稔 (高田 東本町 4 丁目出身)



撮影 松本栄規さん

日露戦争の後、ロシアと敵対するオーストリアは日本陸軍の強さに感心を寄せた。

テオドール・フォン・レルヒ少佐を日本に派遣し、軍隊の調査に当たらせる。

日本陸軍はレルヒがスキーの名人だと知り、指導を依頼した。当時八甲田山の雪中行軍で大勢の遭難を経験し、雪上戦に備えてスキー技術習得の必要性を痛感していたためだ。雪深い新潟県高田(上越市)の師団に赴いたレルヒは、軍の意図とは別に、軍人以外にも声を掛けた。体操教師や女性ら一般住民に、板の着脱や歩き方、山の乗り方など基本動作を丁寧に教えた。日本のスキーの始まりとされる(1911年1月12日)。

冬場は炉端にこもりがちだった豪雪地帯の人々に新たな娯楽が生まれた。「スキー倶楽部(くらぶ)」が結成され、ゼッケンを付けての競技会も開かれた。レルヒの技法は、アルプスの山岳で普及したアルペンスキーだ。冬季五輪の大回転や滑降の源流である。高田の人々は、後にレルヒの銅像をスキーを指導した「金谷山」に建て、今も毎年2月に「レルヒ祭」を開催して称(たた)えている。スキーを愛した彼は、外交を巡る思惑が渦巻く北京五輪を泉下からどんな思いで見つめているだろう。

1964年にオーストリアのインスブリックで開催された冬季五輪で猪谷千春がスキーマルペン（回転）競技で日本人初の銀メダルを獲得した。この五輪で地元オーストリアのトニー・ザイラーがアルペン（大回転、回転、滑降）競技三冠王となった。

競技引退後ザイラーは映画「黒い稲妻」「白銀は招くよ」で主演しアルプスでのオーストリアのスキーマルペンのPRに努め、更にその後親善大使として日本に招かれ「金谷山」でのスキーマルペンイベントに参加し、高田市民との友好に一役買ったのはレルヒの影響があったと思う。また、小学生時に新潟県で開かれた冬季国体スキーマルペン部門では、ノルデック（距離とジャンプ）が「金谷山」アルペンが妙高高原、赤倉で行われジャンプ競技を見に行った記憶がある。ジャンプ台は、ノーマル・ヒル、ラージヒルの区別は無くK点70mで、ランディング・バーンの斜度37°国内有数のものだった。中学生時にランディング・バーンを滑降したことがあるが斜面から平面に変わる時の脚は前へ滑走して行くが上体は後ろに置いていかれるという感覚は鮮明に残っている。

豪雪地高田は、雪国特有の共有通路「雁木」が延々と続く街並みです。南本町通り、本町通り、大町通り、仲町通り、北本町通り、東本町通り、稲田から四ヶ所通りと続く雁木通りは二階建の民家が総延長13kmと繋ぐ地域遺産、江戸時代初期からの道路幅も関西の古くからの道路と較べ遙かに広く市内循環バスも走っていて城下町の開発に先見性が伺え、東本町通りには城下町の特長である鍵形の街並みがそのまま残っている。

雁木は冬期の豪雪に連なる町家の生活通路を確保する為、個人の所有地を提供し軒先を延ばした歩道で郵便ポストも雁木内に有り、雪国の人の「ゆずり合い、助けあい」の心の礎と言われる。

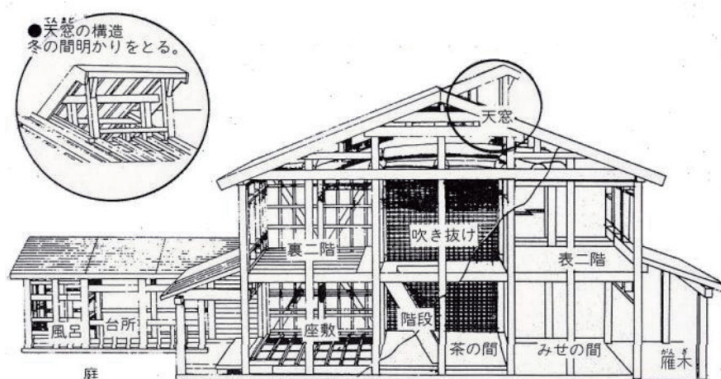
雁木通りの町家は間口が狭く奥行きが長い「鰻の寝床」と言われる2階建ての家がほとんどで雪下ろしが大変。屋根は、トタン葺（ふき）でところどころに「撫せ止め」という突起物があり雪の滑落防止の工夫があったし、屋根の勾配も緩やかだった。

トタン屋根は夏にコールタールを塗布し劣化、錆止め、雨漏り防止を施していた。瓦葺の屋根が皆無なのも町並みの特徴の一つ、家の柱も積雪対応の為、太く大黒柱は一尺角、他の柱も細くても5寸角以上で3寸角の柱は無かった。又、冬囲いした樹木が丸々埋まる程の豪雪の為この地方には庭園は少ない。町家の間取りは雁木通りの方から「みせの間」「茶の間」「座敷」の順に配置されその横に「長い通り廊下」が建物の表から裏まで通っていて下足のまま移動できるようになっているのが特徴。また茶の間の天上は灯窓を持った吹き抜け空間が広がっていて、そこに「表二階」と「裏二階」を繋ぐ空中の渡り廊下があった。

雪下ろしは町家の為、茶の間の天上の最高部を境に表側と（道路）と裏側の庭、或いは畑等の空き地に下ろすが、雪樋いを何枚も繋ぎ合わせ大屋根から滑り落しいちいち運んで落とすのではなく雪樋いをズラし滑落させ落雪場所では落ちてくる雪を下で別の人が待っていて踏み固めて壁に積み上げた。道路へ下した雪をこうして積み上げた後雪

鋸で切り込んで雪そりに積み込んで郊外の指定場所（城跡の外堀や外の空き地）まで運び捨てる作業を小学校高学年から手伝った。

家の裏側への雪下ろしは雪樋いを繋ぎ合わせできるだけ家から遠く離れたところまで滑り落とし家の近くは明かり取りと二度目以降の雪下ろしに備え開けていた。



▲町家の間取りイメージ（『わがまち上越の歴史』より）

スコップでの雪下ろしはトタン屋根を傷付けないように雪を少し残しておくように注意した。下ろした雪は火災対応の為の道路確保への除雪の通達があって「雪下ろし除雪」は地域が一带となつての同時期作業、正にワン・チームの住民総出の社会活動、助け合いであり高田の「義理、人情、思いやり、優しさ」の原点になっていると思う。

高田を離れて63回目の冬。雪の無いクリスマスの違和感は消えたけど、記憶が曖昧になっても豪雪の思い出は消えることのない宝物である。

上越市からのお知らせ

上越市ふるさと暮らしセミナーのご案内

「雪国の暮らして大変?でも楽しそう!」をテーマに、冬の暮らしを中心に、上越市に移住されたお二人のゲストから、リアルにお話しいただきます。

ゲスト：牛田 光則さん（大島区に移住、民宿「うしだ屋」を経営）

吉田 恵理さん（高田に移住、町家をリノベーションして居住）

日時：2月13日（日） 13:00 - 17:00（受付 12:30 -）

第1部 ふるさと暮らしセミナー 13:00 - 14:00

第2部 個別相談会 14:20 - 17:00

会場：オンラインで開催

申込み：2月9日までに、上越市HPから「キーワードで探す」で「ふるさと暮らしセミナー」を入力し、手続きをしてください。同封のパンフもご覧ください。

「上越市を語ろう」—皆様の手で上越市の魅力を発信

上越応援団たる会員の皆様にお願ひです。

愛するふるさと上越を宣伝してください。最も強力な手段「口コミ」を活用し、リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越についてふれていただき、上越の宣伝をしていただきたいのです。

よろしくお願ひいたします。

訂正とお詫び

たより12月25日号の上越のDNAに掲載した小泉嵩夫氏のお名前は「たけお」とお読みします。訂正し、お詫び申し上げます。

●●●●●●●●●● ネットからのお知らせとお願ひ ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験や思い出、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。

送信先：k.miyazato@araipt.co.jp



2月26日開催 同封のパンフをご覧ください。

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和4年3月10日（2.3月合併）の発行です。